

ひので映画大使最新版

第43回映画大使「くじけないで」 & ひので町民大学「映画講座・くじけないで」

期 日 平成25年10月24日(木) 試写会で開催しました
場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

90歳を過ぎて詩人になった、柴田トヨさんの半生を描きます。ベストセラーとなった詩集「くじけないで」「百歳」の作者で、生きる勇気を教えてくれたトヨさん。山あり谷ありの人生、家族の絆、人との繋がりが生んだ、心癒す言葉たち。『くじけないで』生きていく力をもらえる、そんな作品です。

トヨさん役には八千草薫さん、檀れいさん、芦田愛菜さん。息子夫婦には武田鉄矢さんと伊藤蘭さん。他にも実力俳優さん達が脇を固めます。



(C)2013「くじけないで」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

● 映画大使の「第一声！」

柴田トヨさんの生き方に感動！

人と人の繋がりの大切さを実感！

八千草薫さんをはじめ、キャストの演技が素晴らしかった！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

● 映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

久しぶりに感動の涙を流させてもらいました。自分と年が近いという事もあって、身につまされる思いもありました。私も詩や俳句、五行詩もやっていますので、トヨさんが身近に感じました。

Bさん

私も年が近いので、私の目にも同じような風景が浮かびました。人間で1人では生きられないんだな、誰かがいるから幸せなんだな、って思います。どんな場合でもその人の考え次第で、物事は変わるのだと思います。いい風に考えるか、悪い風に考えるかは自分次第なんですね。これからは感謝しながら生きていきたいです。

Cさん

トヨさんの詩集を読みまして、肩肘張らず、自然体で、いい詩だな、って思っていたのですが、それがそのまま映画に表れていましたね。何か嫌な事があっても、「くじけないで」頑張ろう！っていう勇気をもらった気がします。

Dさん

今までは、自然や生き物、星の綺麗さなどをあまり気にしないできたような気がします。この作品を観て、例えば何かをしながらでも、そういう事を感じると感性がある人もいるんだというのが分かりました。また、人に尽くす事で、自分も元気になるんだな、っていう所で触発されます。

私も詩集を読んで感動しました。また観る機会があったら、日の出町でロケをしたんだってという事も意識しながら観ようと思います。

Eさん

トヨさんの長い歴史の中では、奉公や、戦争など、辛い経験も沢山ありましたよね。そういう人生があったから、あのような詩が書けたのでしょうか。

自然な優しい言葉で、人を助ける詩もあって、出来の悪い息子も、母親の大きな愛情で包んでましたし、空気のような優しさで、すべての人と接しているからこそ、素敵な詩が人の心に沁み渡るんだな、って感じました。

Fさん

私は普段、高齢者の方の支援の仕事をしていますので、トヨさんの気持ち、母の気持ち、子の気持ちがよく分かります。私の曾祖母も、90歳になってから油絵を始めて、97歳で個展を開きました。

作品を観て、家族の縁とか、人の繋がりというものを凄く感じました。トヨさんの愛情が息子にも引き継がれていましたね。何か上手くない時でも、もう少し大きな目で見られれば、ちっぽけな事に感じたり、くじけちゃいけない、とか、プラスに考える事が出来るのでしょうか。

心の洗濯が出来ました。

Gさん

心がじんわりする映画で、言葉って凄いな、って思いました。トヨさんの愛ある言葉で、みんな助けられてましたね。トヨさんも辛い経験があったからこそ、皆を愛情で包めるし、自分への蓄えにもなるのでしょうか。

親子愛も温かく描かれていて、映画の世界という感じではなく、身近にありそうな感じだから、体にじわじわ伝わってきたのでしょうか。

とても良い作品でした。「道」という詩が良かった！詩って奥が深くて、人生そのものっていう詩もあるんですね。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ 柴田トヨさんは今年の1月に101歳で亡くなりました。山あり谷ありでしたが、素晴らしい人生でしたね。
- ・ さりげなく浮かんでくる言葉を書きとめて、それを組み合わせる時に詩にする時もあるんですね。奥深いと思います。ありきたりの言葉でも人の心を打つのは、言葉を選んで書いているからなのでしょうね。
- ・ 日の出町でロケがあったとは、知りませんでした(トヨさんの家の全てのシーンは、外観、室内ともに町内の同じ場所でロケが行われました)。
- ・ 現在と過去が交互に映し出されましたが、効果的で良かったですね。
- ・ 由紀さおりさんの主題歌も良かったです。
- ・ 八千草薫さんの雰囲気がとても良かったです。可愛かった！58年ぶりの主演だそうです。
- ・ 武田鉄矢さんも、母親への想いが強い方なので、演技に表れていましたね。あと、国語の先生も演じてましたしね(笑)。
- ・ 久しぶりに気持ちがスーっとする想いでした。
- ・ 「信じる気持ち」の大切さを実感しました。

まとめ

90歳を過ぎて詩人となった、柴田トヨさんの半生を描いた作品でした。生きる者すべてが避けては通れない「老い」ですが、ただ単調に歳を重ねるだけでは「もったいない」という事をトヨさんは教えてくれました。どんなに歳をとっても自分出来る「何か」を探し出すという事は、こんなにも人を輝かせるのか、そして、周りの人達の支えが、こんなにも1人の人間に光を与えるのか、という事を教えてくれる作品でした。

孤独な年配者が問題となっている今だからこそ、人間として何が出来るのか、もう一度考える必要があると感じさせる作品でした。

トヨさんの素敵な言葉が皆さんを包みます。

劇場では是非ご覧ください！

ひので町民大学「映画講座・くじけないで」が開催されました！

10月19日(土)に、ひので町民大学「映画講座」が開催されました。

日の出町では、映画を「芸術」として捉えており、生涯学習にふさわしいとの観点から、「ひので映画大使」を中心に事業を展開しておりますが、もっと多くの町民の方に素晴らしい作品との出会いを提供すべく、「映画講座」を開催してまいります。「映画講座」は話題作を公開初日等いち早く、しかも通常料金より安くご覧いただき、その感想をアンケート形式で述べていただく事業です。

今後の「映画講座」事業にもご期待ください！

今年度の「映画講座」として選んだ作品が「くじけないで」です。当作品は日の出町でロケが行われたという事もあり、開催を検討していたのですが、配給の松竹さんと、「映画大使」でいつもお世話になっているイオンシネマ日の出さんの多大なるご協力を得て、なんと一般公開の11月16日(土)よりひと月も早い、10月19日(土)に開催出来ました。更に今回は当作品のプロデューサー、橋口一成さんにお越しいただき、舞台挨拶も実現しました。橋口プロデューサーはトヨさんと実際にお会いした時に「大人の我々にもアメ玉をくれた」エピソードや、「詩集に感動し、自らストーリーを作った」事、また「日の出町では良いロケが出来ました」、「八千草薫さん、檀れいさん、芦田愛菜さんは自ら出演を希望してくれました」、「トヨさんの詩集は女性からの支持が多いので、主題歌も、由紀さおりさんに依頼した」事などをお話され、「お年寄りを持つ家族は是非観て欲しいです」とのメッセージをいただき、参加した約150人の受講者は熱心に耳を傾けていました。「映画製作の舞台裏がよく分かりました」、「丁寧な説明で聞き易かった」など、大変好評でした。

また、監督の深川栄洋さんからは、ビデオレターで町民の皆さんへのメッセージをいただき、受講者からは、「若い監督ですが、人間味があり、有望な方と感じた」、「気持ちが伝わった」などの声をいただきました。

作品をご覧になった皆さんからは、「素晴らしかった。涙がたくさん出ました」、「優しさがあふれている映画を初めて観ました」、「日の出町で撮影されたという事で、身近に感じました」、「何かを見つけて生きる大切を感じました。トヨさんのファンになりました」、「素晴らしかった。やさしさがステキ」、「目をとじて…色々な感想が思い出されます。くじけないでがんばろう」等々、好評の声を数多くいただきました！



舞台挨拶される橋口プロデューサー

➡ 関連ページ: [これまでのひので映画大使](#)

➡ 関連ページ: [ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係
電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶